

大里地区租税教育推進協議会長賞

豊かな町づくりに大切な税金

熊谷市立荒川中学校 二年 高橋 梨花

私は、税についてよく知りません。しかし、以前私の祖母に税についての話を聞きました。

祖母の話によると、毎年「市税等納期メモ」が印刷されて、市から各家庭に配布されるそうです。それを、祖母は目につく場所にはっておき、各月の税金の支払いは何なのか、忘れないように確認しているそうです。通帳引き落としなので、口座残高も調べておくことも大事な一つとも言っていました。

例えば、五月は固定資産税、都市計画税（第一期）、軽自動車税（全期）納期限は五月三十一日。六月は、市県民税（第一期）納期限は六月三十日といった具合に四月から三月まで明記されているのです。一年間にいっぺんに納めるのはできないので、月ごとにわりふって納めやすくしてあるようです。

固定資産税、都市計画税、軽自動車税、市県民税、国民健康保険税、排水使用料、排水道土地改良区費、宅地等排水負担金など聞いただけでも大変だな、と痛感しています。

私の家も新築して、家や土地にかかる税金（固定資産税）を払っているわけで、今まで子供として関心を持っていなかった面がいろいろあることに気づかされました。その他にも消費税、ガス、電気、たばこなどにも税がかかっているそうです。市として学校を建てたり、道路を整備したり、市民みんなのための仕事をしていくには、たくさんのお金がかかります。そのために、みんなから納めてもらった税金を正しく使う努力もなされているのだと言うことを改めて考えさせられました。

私達が住んでいる熊谷市をさらに良くしていくために市長さんを中心にさまざまな計画を進めて行っています。「あついぞ熊谷！」のそのかげで交通安全の施設、歩道橋、地下道などをつくっている現実を目のあたりにして、税金のおかげで市民が安心して暮らしていけることを、今しみじみありがたいと思います。祖父母が私の家に来る時も、今までは開かずの踏み切りでずい分待たされたけれど、今はとても楽だと喜んでいます。車で通る度にこの地下道を完成させるまでの関係者の苦勞を思う、とも話してくれました。豊かな町づくりと市民の幸せのため、払う方は大変でも、やっぱり税金は納めないといけないんだという事を改めて思いました。